

震災復興、県民のいのち・暮らし第一の県政を

11月26日、千田美津子・高田一郎・斉藤信の3名の日本共産党県議団が、陸前高田市の戸羽太市長等を訪ね、復興の進捗状況と課題について説明を受けるとともに、県政への要望をお聞きしました。

被災地にとって深刻な問題がどれだけ知事に伝わっているか疑問

戸羽市長は、「毎年、振興局を通して県要望を行っているが、被災地にとって深刻な問題が知事等にとりだけ伝わっているか疑問だ」等と率直に述べました。また、担当部長からは、「盛土して整備された土地がどれ位活用されるのか、被災者アンケートでは活用計画があると答えたのは16%程度であり、今後のまちづくりの見通しが立たない」と言う現場の切実な実態をお聞きしました。



戸羽太 陸前高田市長と懇談する日本共産党県議団（向こう側中央が戸羽市長、左隣が私です）

被災者・被災地の声を生かした人間復興を…

集会では、7月の西日本豪雨災害の被災地、広島県、岡山県、愛媛県などから報告。豪雨や台風は自然現象だが、被害は人災であり、国の対応はダムによる治水が優先された結果だとの指摘に納得しました。

豪雨災害は人災

災害対策全国交流集会が11月11日から12日まで、大槌町の「三陸花ホテルはまぎく」で開催され、千田県議が参加しました。この集会には全国20都道府県から170人が参加し、交流しました。



集会には、千葉敦市議会議員も参加。

災害対策全国交流集会に参加しました！

黒石地区の歩道・道路改良を要望

6月15日、水沢黒石地区を通る「県道田原・折居線」の道路改良と歩道の設置のため、県南広域振興局土木部の現地調査を求め、あらためて地元の皆さんと要望しました。

この地域は、人口減少に伴い、子どもたちも減ってしまいが、県道を通る大型トラックが多く、歩道のない県道が通路となつていて子どもたちにとって、とても危険な通学路の一つでした。この間、市を通じて毎年のように要望していたようですが、改善されていませんでした。今回の調査には保護者や振興会などから20名以上の方が参加し、直接要望を行いました。これに対し、県の担当者も改善の努力を約束。千田県議からも地域の宝である子どもたちのためにも、一層の努力をする決意を述べました。



現地調査をもとに県南振興局土木部に歩道の整備・改善を要望する黒石地区のみなさんと千田県議



自然堤防が破壊され…

今、胆沢川の河川敷に太陽光発電の設置が進められています。しかし、この事業実施にあたり、自然堤防が破壊されるなど、周辺地域の皆さんが心配するような事態が起きています。

太陽光発電事業に係る地元説明会を要求（佐倉河地域）

このため、10月に関係者で現地調査を実施するとともに、県南振興局や施行事業者から聞き取りを行いました（左写真）この日に出された疑問にさらに答えていただくために、1月17日に再度住民説明会を開催していただくことになりました。全国的にも、大規模な自然災害が発生している時だからこそ、住民への丁寧な説明と対応が求められます。



地元の要求で1回目の住民説明会を開催